

秋の湖水攻略

三名湖、浅ダナ&チョーチンイレバク劇場！
問答無用のへら鮒界ビッグ2が
秋の湖水釣りを分かりやすく解説！

石井旭舟

早川浩雄

- 2 生井澤 聡 ~イントロ~ 秋の芦ノ湖
- 24 **NEO-HERA PRO LEAGUE 2006 第四戦 亀山湖**
- 30 中澤 岳 フィールド真っ向勝負
《Vol.11》不滅！ 西湖石切溶岩地帯をゆけ！！
- 36 棚網 久の我流
《第九回》神流湖ダムサイトで驚異の粘釣！！
- 42 小池忠教 K'S FORM & STYLE
《Vol.9》長竿チョーチン両ダンゴ 戸面原ダム
- 49 杉山達也のSUPER SPLASH!
《ROUND.10》最新ベレ系釣法 富里乃堰
- 54 戸張 誠 関べら戦記
《第九回》9月例会 三島・豊英湖 “好転”
- ★AREA REPORT
- 58,66 鳳来湖(愛知県) 本誌・伊藤洋一
- 60,68 和気池(石川県) 山本一朗
- 61,69 堀津かつば池(岐阜県) 後藤 誠
- 62,70,71 甲南へらの池(滋賀県)・豊田湖(山口県) 前田誠志・河口正伸
- 134 竹とともに生きる。
《第37回》「魚集英雄作」 城 英雄

- 138 石井旭舟 へらぶな浪漫街道
《第四十六回》埼玉県 新河岸川放水路
- 145 田辺哲男&小林森之の問答無用へらツアー
《Vol.11》シマノJC関東AB大会アタック！
- 150 **マルキューペアへら鮒釣り大会 野田幸手園**
- 152 吉川ひとみのあっち こっち そっち♡
《Vol.9》ひとピー、劇的勝利やで〜!!
ショップ:松岡釣具店 釣り場:佐仲ダム
- 156 稲毛利夫 野釣り場地獄巡り
《Vol.11》この美べらが目に入らぬか〜!! 酒門池ほか(茨城県水戸市)
- 194 岡田 清 Deep Side Angle
《Vol.36》【深宙】 野田幸手園(千葉県)
- 200 北川穂積 西の交友録
《第11回》ゲスト:石井旭舟 釣り場:野村ダム(愛媛県)
- 204 釣りの帰りに寄りたいお店
《file.21》東京都八王子市【中国料理 四川菜館】の金醬鰻魚
- 206 釣果予想クイズ
- 208 フィッシングレディ
《今月のレディ》長谷川陽子さん 柳生FP

p.165~

釣り場割引 クーポン券

野田幸手園 椎の木湖
清遊湖 谷和原大沼 上尾園
F.A吉羽園 谷養魚場 将監
柳生FP 筑波白水湖 泉堰
逆井HC 友部湯崎湖
水藻FC 甲南へらの池
三和池 狭山HC 新座LC
川越FC 府中HC 当麻池
芦田湖水光園 鳥羽井沼
朝日池 大上へら池 霧の沼
小川つり堀園 清川つくしFC
千代田湖・舟宿 千和
精進湖・釣宿 金風荘
西湖・釣舟 白根
西湖・釣り宿 丸美
西湖・釣り宿 青木ヶ原
相模湖・釣舟 五宝亭
相模湖・釣舟 天狗岩



▶今月の表紙
西湖・石切のへら鮒
芦ノ湖のへら鮒
photo & layout: 本誌・里

へら鮒

11月号

Nov.2006 No.491

- 75 **マルキューレベルアップセミナー**
- 76 **へら鮒釣り 超基本講座【道具作り編】**
《第23回》竿掛け・玉の柄作り②
- 81 **ガチンコ道場**
《第11回》秋のメジャートーナメント予選始まる
- 88 **都祭義晃 カリスマ伝説**
《Vol.11》「つまらない」って言われたら罰ゲーム 椎の木湖
- 92 **石川裕治が伝授する王者の法則**
《第11回》秋の千代田湖で底釣り
- 99 **江成公隆のトーナメンター、復活への道。**
《Vol.53》メジャーの季節
- 106 **すずめつつつ へら鮒調査隊！ 天野正由**
《調査ファイル11》松原湖の様子を探ってきてちょ〜だい 松原湖&相模川・望地テトラ対岸
- 110 **水辺のプラネタリウム 吉本亜土**
《今月の星空》「モウセンゴケ」
- 114 **最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ**
《第四十五話》大健闘。第29位！ タカハシ・チャラボウ組マルキューペア大会参戦記

- 119 **へら鮒ブログ 西田美明**
《第11回》「仲間に逢うため、幾千里」
- 122 **母なる湖… 琵琶湖べらを釣れ！ 南 元彦**
《第18回》カチカチ山
- 126 **野田幸手園新聞**
- 162 **ワクワク管理釣り場情報**
- 171 **小売店情報**
- ★へら鮒BOX
- 177 里ちゃんの新米編集長雑記
- 178 情報発信基地
- 181 ボイス
- 186 **柴舟「SAIKAI倶楽部」第4回懇親会 嵯峨ら湖**
- 187 コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己
- 188 コラム『日々是、勉強!』 ホワイト
- 189 コラム『紀州“想いの竹”のものがたり』 中峯伸行
- 190 プレゼント発表
- 191 広告索引
- 192 編集後記

STAFF

- Producer
根本百合子
- Editor in chief
田中里史
- Editor
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一
- Planner
〈オフィス・えび〉
藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の

トーナメント、

復活への道。

〈Vol.53〉

メジャーの季節

「一歩進んで二歩下がる!?!」

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画!...いよいよ再登場! (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

「仕事のグチを延々と書くな!」「原稿早く書いてやれ!編集部がかわいそうだ!」「何がナリーズだ!」
クレーム殺到の「トーナメント復活への道。」

しかし、大目に見てあげて欲しい。これも「道」の道程である、と…。

さて、

いよいよシマノ・ジャパンカップ予選が始まり、「メジャーの季節」到来である。

もちろん、「メジャー挑戦」はこのコーナーの柱であり、目標でもある。

久~しぶり(初めて!?)に連載趣旨に沿った原稿が到着し、

一安心。

さて、アニキは予選通過出来たのかな?

by 里ちゃん

11年振り。

連載開始以来、ジャパンカップ関東予選参加は、実は初めてである。昨年は気付いたら締め切りを過ぎていたし、一昨年は、なんだったっけ…。とにかくこれで、パ杯、G杯、マスターズ、JC…と、個人タイトル4大メジャー全てに参戦したことになる。連載53回目にしてやっとだ。

僕にとって11年振りのジャパンカップだが、「予選の予選、いわゆる1次予選を通過出来なかったことが一度もない」という輝かしい?自分史に泥を塗ることになるのか。はたまた、連載開始以来はじめてのメジャー1次予選突破となるのか?前日の気分はもちろん後者。全国大会出場とは行かないまでも、せめてそろそろ1次くらいは突破したいものだ。

予選前日、なんとか時間を作り、職場の近所の大型釣具店で大量にエサや小物を買いたむ。へらコーナーが小さく、欲しいものを揃えることは叶わなかったが、それは仕方ない。何も無いよりマシである。そして今回の買い物では、いつも忘れていた「念願」のウキゴムをついに買うことが出来た。今後、「ウキのすっぽ抜け」は、「お約束」ではなくなる筈だ。残るは「覆坊」だけである。

エサや道具は揃えた。やる気もあった。しかし、時間がなかった。

ジャパンカップ予選前日、仕事が終わったのは、すでに予選当日となっていた深夜2時半。片付けて家に帰ると3時を過ぎていた。ジャパンカップ予選が行われるのは椎の木湖。急いで道具を入れ替え、シャワーを浴びる。「ハリは結んでいかなくとも、ウドンだけは」と思っていたのだが、諦めて家を出た。なんだかんだ言ったって、固形セットでは重さが

カギとなるケースが多いし、エサ持ちも考えれば、インスタントウドンより本物のウドンの方がいいのだが、やむを得ない。「仕事が出来れば、釣りにも行けないのだから」と、自己納得させた。

楽しみで仕方なかったジャパンカップだが、行きは睡魔との戦い。現地に着けば目が覚めるのは分かっている。何とか辿り着けさえすればいい。湾岸線は何か持ったが、東北道がヤバかった。窓を開けて風を入れ、カーズテレオのボリュームを最大に。それでも気がつくまで寝ている自分に愕然。

「受け身ではダメだ。自分でも歌おう」
RCサクセションを絶叫し、何とか持ち直した僕は、羽生出口で完全に目が覚めることになる。料金所へと続くスロープをロクに減速もしないでカッ飛んでいくと、目に飛び込んできたのはバックランプを点灯させている一台の車。

「トどうしたんだ! エロくエロくヘッ…」
ニュースでたまに聞く、笑い話のようなホントの話が目前に展開されていたのだ。おそらく本来はもう少し先の出口で出たかったのだろう。…にしても、「じゃあバックして本線に戻ろう」という発想がすごい。コーナーリング中の急ブレーキ&進路変更(というか、全開バック)。それだけでもヤバいののに、後ろからは大型ダンブが迫ってくる。スローモーション。完全に死ぬと思った。…多重衝突は何とか免れたが、ダンブをかかわすスペースがなかったため、アホな車は僕達(エナリと大型ダンブと愉快な仲間たち)にトコロテン式に押し出された。僕達のホーンに気付き、「何かあったんですか?」と聞いてきた料金所員によれば、「そういう時は、声を掛けてくれれば、もう一度入り直させてあげるのにな…」とのことだった。僕も過去に間違っ降りましたったことが何度かあるが、2回だけ「聞

違っちゃったんですけど……と勝負してみたことがある。そのうち一回は、そのまま入り直させてくれ、もう一回はダメだった。ので、人によるのだとは思う。悪いヤツなら人の善意を踏みじり、そのまま逃走という手として使ってしまうから、おそらく原則として許してはならないというキマリになっている筈だ。それにしても、直後に「命拾いした」とは受け止めずに、「こんなところでツキを使っちゃまったせ」と感じていた僕は太力者ではない。

どうでもいいことだが、「へら鮒」での僕の執筆活動は、11年前のジャパンカップ惨敗記から始まった。懐かしい思い出である。…アレッ？ってことは、この連載が始まった時、トーナメント完全撤退から10年経ってねーじゃん。里ちゃんが書いた連載第一回目のイントロで、10年前って紹介されてなかったっけか？ 確かに一番夢中だった時代からは10年くらい経ってただけだなぁ……。

非情のホイッスル。

途中で朝食を買い込むことは出来なかったが、1時間ある受け付けには間にあった。急いでクジで引き当てた座席に向かう。途中、業界の有名人の皆様に声をかけられたが、かなり恥ずかしい。その有名人は誰もが知っている。しかし僕のことには誰も知らない。どうせコケるなら、ひっそりとコケたいのに……いやいや、そんなネガティブではダメだ。

僕が引き当てた場所はかなりイイ場所らしい。田辺さん&小林君の取材で来ていた里ちゃんから「ダンゴでイケるかも。深宙なら間違いない」という話を聞いた僕は、とりあえず仕掛けを作る。ウドンは用意出来なかったし、ダンゴ地合なら好都合だ。8尺チョーチン。

仕掛けを作り終え、周りを見る。浅タナ組が圧倒的に多い。やはり王道は浅タナセットなのだ。

「逃げるな！」

どこからともなく声が聞こえてきたような気がした。ここで僕は迷った。浅いタナならセットだろう……しかし、深いタナではダンゴなら、浅いタナは固形セットではなくヒゲ地合かもしれない。ならばウドンがなくても何とかなるのではないか……慌てて2本目の仕掛けを作る。今度も8尺。しかし競技開始時刻が迫る……。

合図と同時に、各選手が一斉に投餌を開始する。静寂が破れる。が、一瞬後には、競技場は静けさを取り戻す……ハズであったが、この日の椎の木湖には、僕のハリ結び機のモーター音がこだました。競技が開始されてもまだそんなことをやっている僕に、真剣に競技に臨んでいる選手の中には、軽蔑の視線を送った者もいたかもしれないし、緊張を解きほぐされ喜んだ者もいたかもしれない。僕自身としては、もちろん「何やってんだか……」という気持ち。でも、緊張を解きほぐされたのは自分もそうで、「そんなのもアリかな」とも感じていた。「余裕がうちかまし」で、ライバルを飲む作戦にもなるし……この場合、通過しなかったら思いっきりダメサイだけだ。

「朝の1時間はへらも落ち着かず、まともに動きませんから。5枚も拾えたら御の字ですよ。アセって動かないことですネ！」

里ちゃんの言葉通り、一次予選の最初の1時間、僕は5枚。並びでは釣れている方で、上々の滑り出し。が、ここからの3時間で僕はたったの4枚追加したのみのトータル9枚で終わった。9枚ですよ9枚！ 予選通過ラインは30枚以上だったようだから、全くお話しにならない。交通事故で死ななかったが、釣りで「即死」である。

今回のコケっぷりはハッキリ言って、現在の自分が、「自分自身で敗因を分析する」レベルにいないことを示す。それでも連載の宿命、そこを書かなければならないのが辛いところだ。

最初の1時間が経過した後、ウキの動きは活発になった。活発になったといっても釣果に結びつけられない訳だから、劇的な活性向上ではないとお察しいただきたい。ここで「オマエがへらだからだろっ」と片付けるのもごもつともだが、それでは原稿にならないのでご勘弁を。で、活発になったウキの動きに対して僕がどういう行動を取ったか。一言で言えば、「釣りにかかった」。「決めにかかった」と言い換えてもいい。結果として釣れなくなったんだから、「よく言うよ」ってなもんだが、所謂「締める・詰める」方向のことですな。なんでいつも同じ間違いをするのか自分でもよく分からない。「いいへらを寄せ続けなければならぬ」だの「ハワー系」だのと、散々文章にしておきながら、いつも出来ない。セットって、エサが2種類あるぶんウキの動きが複雑なため、どうしても抑えなくなる傾向が僕にはあるようだ。ダンゴの時にはいくらか寄ってもいいと思っているのだが、セットでは無意識に拒絶しているのかもしれない。

寄りが薄く、いいへらの割合が高い最初だけ釣れるというのは、ニセモノである。仕込みが終わった後、本番の料理が出来ないということになるからだ。確かに30枚台の通過ラインに対して9枚では、まるっきり初心者レベルである。

抑えたことが敗因であるなら、逆にもっとウキを動かさなければならぬ。もう少し拾えたのかどうか？ ……きつと拾えなかったに違いない。へらを一列に並べて釣るイメージは有り得ない現代セットにおいては、遠巻きのへらのサワ

リ・アタリを、「無駄な(僕にはついそう感じしてしまうが、当然必要経費のはず)動き」の中から選んで釣っていく必要がある。ダンゴに反応する暖季のセットならなおさらだ。中小へら主体のセットから、タイムマシンに乗って現代に来て5年近く経つというのに、いまだにここで躓いている僕。それでも「もつと下ハリスを伸ばせば世界が変わるんだろな」とは感じていた。ウドンがなく、結んであるハリスもなく、僕は試さなかった。が、2次予選をトップ通過し、全国大会出場を決めた天笠氏は、下ハリス40cm+感嘆だったと聞いている。もちろん長いハリスがあったら氏と同じだけ釣れるなんて思ってもいない。

ただセティングの方向性の判断に、間違いはなかったんだな、という感じ。「じゃあその場でやれよ！」という声が聞こえて来そうだが、それが出来ないのが熱くなった人間というものだ。と、自分に甘い江成である。いや、ホントにあの時、ハリを結ぶ時間も惜しかった。どうせ釣れないのに……。あ、感嘆はとりあえず作りましたけどネ。

1次予選終了30分前、沸騰し切った僕は、気付いたら竿を持ったまま寝ていた。

よく棧橋から落ちなかったもんだ。その直前、突然に意識が朦朧とし、全く釣りに集中出来なくなったのは自覚していた。全く憶えがないが、その直後に寝てしまったのだろっ。もつとも居眠りとはそういうものだが、その後がキツかった。もう釣りどころではない状態であっても、おおっぴらに寝るわけにはいかない。なんせ天下のジャパンカップ予選である。どんなに結果が見えていたとしても、トーナメントの士気を下げる訳にはいかないのだ。

それにしてもショックだった。誤解されると困るので書いておくけれど、現在の自分は釣行回数を除けば遙か以前と変わらない情熱



シマノJC関東B予選in椎の木湖、一回戦。
この後、アニキ倒れる…

を保持していると自負している。それなのに、トーナメント予選で居眠りをこくなんて…。体力が落ちていることを痛感。

1次予選終了後、フリーの釣りも見学もせず、仲間に挨拶もせず、とっとと釣り場から立ち去った。猛烈な頭痛にも襲われ、空腹のまま「イブ」を飲むわけにもいかないのとおりあえずインターすぐそばのウドン屋に駆け込む。「旨いー」。食欲はあったのでホッと、店の駐車場で2時間ほど寝た。起きてすぐに車を出したが、夕方のラッシュにはまだ早かったにも関わらず、帰り道は想像していた以上に渋滞。一気に疲れが倍増。どうにかこうにか家のそばまで辿り着いたが、スルーして職場へ直行。「マジで」。これには自分でも驚きで、全く想定外の行動だった。冗談抜きで、無意識。いや、ホントに直前の思いつきというか：誰か止めてくれ。いつからこんな真面目人間になったワケ、俺？ このままじゃヤベス！…でもこれが現実なんだろうなあ。連載、このままじゃマジ終わらないッス…。

その先の先へ。

僕の並び(たぶん隣のブロック)で1次予選を通過したガッツ小林君(ナリーズ入会希望!! もち了承済み♡) ちなみに、編集部「何でオレの名前がないんすか!」とクレームが入ったトマちゃんも、即入会了承♡も、1次予選を通過したチャンプ岡田君(ナリーズ名誉会員♡)も、2次予選で散々らしい。しかし、セットマイスター天笠氏は、G杯予選に続いてトップ通過している。これはもう、「氏しか知らない領域が存在する」というのは間違いないということになるのではないかと。

先月号で告知して以降、ナリーズ参加希望者が後を絶ちません。「後を絶たない」は大袈裟かな。「ボチボチ」に訂正します。で、一応言っておきたいことは、ナリーズがニューtralな「気分」として「利用」されては困るということ。心配する必要もないとは思いますが、ナリーズは純粋に釣りを熱く語り合う場です。「ニューtral」とは「冷めた」という意味ではないんですよ。ナリーズは熱くなくてはいけません。また、熱くても人の話を聞く耳は必要になります。それが「ニューtral」です。どう冷静に判断しても当てはまらないのに、なんとなくポーズとして「ニューtral」してみたいだけの方のご参加はご遠慮願いたいと思います。むしろすでにある「自分の置かれた立場」を認識し、「出来る範囲内での参加」と、予め断っていただけの方がよっぽど気持ちいいんです。ナリーズ三原則のひとつ「門戸は広く開放するけれど、敷居は高いでせ」というのは、こういうことなんです。書いてて自分でもよく分らないんですけど…。

然否定してないので、念のため。ならば話は簡単だ。そのさらに先を探してくればいい。誰も知らなければ月イチでも勝てるかもしれない。ナリーズは、経験ではなく理論で勝ちに行く。

「理論は会議室で考えてもいいんじゃない? 現場で試すんやー!」(なんじゃソレ…)

僕ちゃん、めげないもんだ。

憎まれそうもない!
ニューフェイス。

先月号で告知して以降、ナリーズ参加希望者が後を絶ちません。「後を絶たない」は大袈裟かな。「ボチボチ」に訂正します。で、一応言っておきたいことは、ナリーズがニューtralな「気分」として「利用」されては困るということ。心配する必要もないとは思いますが、ナリーズは純粋に釣りを熱く語り合う場です。「ニューtral」とは「冷めた」という意味ではないんですよ。ナリーズは熱くなくてはいけません。また、熱くても人の話を聞く耳は必要になります。それが「ニューtral」です。どう冷静に判断しても当てはまらないのに、なんとなくポーズとして「ニューtral」してみたいだけの方のご参加はご遠慮願いたいと思います。むしろすでにある「自分の置かれた立場」を認識し、「出来る範囲内での参加」と、予め断っていただけの方がよっぽど気持ちいいんです。ナリーズ三原則のひとつ「門戸は広く開放するけれど、敷居は高いでせ」というのは、こういうことなんです。書いてて自分でもよく分らないんですけど…。

会のカテゴリー分けについても書いておきます。競技会、勉強会、研究会等いろいろありますよね。まず、ナリーズは競うだけの場ではありませんので、「競技会」というカテ

「浅ダナスタイル・ワイドプラス」

杉山作

トップ	羽根	カーボン足
七番	10	7 7.5
八番	11	8 7.5
九番	12	9 7.5
十番	13	10 7.5

※トップは内径1mmパイプトップ
ボディは5.0mm厚一本取り
1本¥6,300(税別)

発表以来、絶大な支持を得ている「浅ダナスタイル・ワイド」のビッグサイズ版、登場。
バランスはそのままに、サイズ、ボディ、トップにボリュームをプラス!

取り扱い店〈五十音順〉
 埼玉・越谷 かわせみ (048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (03-3499-5025)
 埼玉・入間 への三水 (042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人 (044-287-7470)
 東京・吉祥寺 丸勝 (0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店 (0428-22-2467)

リーは、スタンスとしてちよいと違うなって感じたわけですね。月例会は競技会のカタチを取りますけど。で、次に「勉強会」というと、生徒同士で自習というパターンもあるでしょうけれど、やっぱり先生と生徒という構図が一番先に浮かんでくるんです。ナリーズに先生はもちらんいてもいいんですが、先生だけ進歩しない、もしくは進歩が遅いのは嫌だなって感じたので、却下。どちらかと言えば、「先生と生徒」よりも「生徒同士で自習」の方にウェイトを置いたら、「研究会」の方がマシなのかなってことで、「ウチは研究会ですよ」って話なんです。最近あまり流行りませんが、「〇〇へら鮒釣り研究会」ってネーミング、昔はたくさんありました。先人達の気概が感じられるネーミングだあっていつも感じていました。ウチも、名前こそ「ナリーズ」ですが、カテゴリーは研究会です。そこそこヨロシク。それから、「チーム ナリーズ」ではありません。タダの「ナリーズ」です。とまあ、こんなどうでもいいことに馬鹿みたいにこだわっているクラブに、「名前だけ登録」ではなく、本気参加第1号の新入会員がやって参りました。保科健二さん(34才♡)です。彼は一般的にはまだ「有名人」とは言えないかもしれませんが、知る人ぞ知る真正正銘のトーナメンターです。電話で聞き書きしたメモを紛失(失礼!)してしまつたのであやふやですが、今年はすでにジャパンカップとクラブ対抗の全国行き切符を手に入れています。羨ましい! で、所属クラブでの活躍もハンパじゃなくて、過去には三年連続年間優勝なんかもやってるみたいです。派手ですね。直近では、クラブ対抗連覇で有名なあの「フォーラム倶」で昨年度年間優勝! 凄い! 現在のタイトルホルダーですよ! そんな人が、なんとなんと、僕の連載の愛読者だつていうんだから、世の中分



ナリーズ新会員となった保科健二さんは、ナリーズ例会前日、シマノジャパンカップ関東A予選(富里乃堰)を通過。写真はその時のもので、右端が保科さん。凄腕トーナメンターがナリーズに加入! 本当にいいのか、保科さん!?

ないっす。さっそくナリーズ第二回例会(9月10日へら学の森 泉園)からご参加いただきまして、そのまま反省会(研究会の部)へもゴー! よくよく話を聞いたら、釣り歴20年と古く、等々力FC時代から僕のことを知っていたらしいんです。「世の中狭いよね」「いえ、この業界が狭すぎるんですよ。これじゃダメですよ」と、力強いお言葉を戴きました。将来有望でございますよん! この号が出る頃にはジャパンカップ全国大会の結果が出ているハズですが、皆さん先月号を思い出して下さい。「僕を見たら、ドラカ確定」。そうです。今年のジャパンカップの優勝者はナリーズから「出」ます!

『結成三カ月にして、いきなりメジャー制覇♡』

保科さん、責任重大でっせ。メディアの取材には「所属ナリーズ」で。男の約束だぜ!

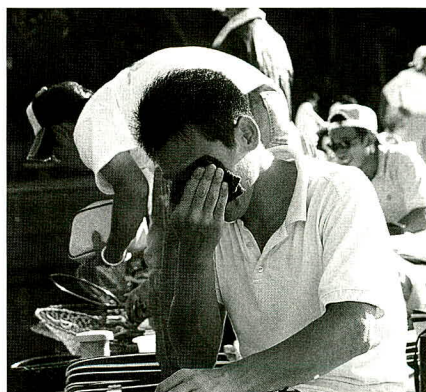


隣の須崎副会長に、気持ちよくノーガキをコキまくる江成会長。得意の底釣り、伝説の「底釣りゼミ・北城理論」を朗々と語り、周囲の尊敬を一身に集めていた。そば耳を立てて聞いていると、今にもバクバクになりそうな圧倒的な説得力と、妙な自信がある意味凄い。そして、逆隣の「釣りに集中したいから、オレに振らないでくれ…」と言わんばかりの、保科氏、平山氏のこわばった表情も凄い。アニキはノーガキに夢中になりすぎてしまった結果、釣果はビリ。夢中会便乗だけに、夢中かい!? (サムっ!)



「今はコレでしょコレっ! ハンカチ王子ならぬ、チョーケチアニキってことで♡」

真夏日だというのに、いったいこのサムさはなんなんだ。それに、ただ釣れなくて落ち込んでるようには見えないところが凄い。そして、後ろの須崎副会長は、気がかぬわりして平山幹事長と談笑、保科新会員はかまわず後片付け。思った以上にウケなかった。



ペレチョーチンで大型を釣りまくった平山奥様が、ナリーズ第二戦を制覇。さらに、45cmのビッグワンも釣って、見事に大型賞も獲得。この方、ただ者じゃあございません



「へら学の森 泉園」は環境もよく、トイレも綺麗で、素晴らしい釣り場でした。平山幹事長、平山奥様、保科新入会員は、10尺前後の短竿チョーチン両ダンゴで。江成会長、須崎副会長、里は、18尺底釣りってこんな大型♡ ちなみに写真は里が釣ったへら。タモからはみ出しちゃうすごいへらでした!

えなりー論ズ。

「江成さん、ナリーズ結成、あの原稿の作者と一緒に釣りが出来るなんて私は本当に夢のようで嬉しいんですが、記事がナリーズ会報と化してしまわないかと危惧しているんです。私がそうであったように、コッテリした理論を楽しみにしている読者に申し訳ない気がしてしまふんです。江成さんを我々だけで独占してはいかん、と…」

ナリーズ須崎氏の言葉。氏はいつも、僕の「机上の空論」を持ち上げてくれる。恥ずかしいと同時に、正直嬉しい（氏は僕より年上にも関わらず、いつも僕なんかのことを「さん付け」で呼ぶ。これはホント勘弁していただきたい）。9枚しか釣れなくても、締め切りを明日に控えて今日初めて原稿にとりかかっている。こうしてパソコンに向かうエネルギーは、須崎氏や平山氏からいただいているのは間違いない事実なのだ。

「ナリーズに偏って何が悪い！」
…とさえ思う。短期的なことなのかもしれないが、直前まで原稿にかかれぬ状況では、

実際問題「コッテリ」は無理。ここ何カ月間かの「ダラダラ日記風」と「コッテリ」では、同じ字数でもかかる時間が全然違う。ただし、ナリーズは「理論追求」。今月は盛り込めなかったが、保科さんとかなりマニアックなトクもあつた。ネタはたくさんありますんで、コッテリ好きの方、ご安心を。いずれ油多め濃いめ種硬めでご賞味いただきます。

でも、でもですよ、この企画の主旨ってどこにあるのかっていう話に立ち返ると、「理論全開」っていうのは、ホントはオカシイです。すよね。「トーナメント復活」する前に、ノガキ全開っていうのは本末転倒ですよ。それでも、続いている連載。僕の図々しいすつとほけたキャラ？のなせる業というか何というか…。だいたい、「復活までのあるサラリーマンの苦悩」とかなんとか言っていたクセに、「日記風はブログでやってくれ」だの「ただの釣行記は勘弁」だのと注文つける編集長もトボけてると思いませんか？ 皆さん。
(※里ちゃん編集長註：度が過ぎてはいけません、ということですよ。誰かがブレキ掛けないと、とことんいっちゃう性格ですから、ア二キは…。あくまでも「トーナメント復活」を忘れちゃダメよ！ってことです)

ザ・例会！

ナリーズ第二回例会は、平山と夫妻が所属する夢中会(林武会長)に便乗して行われた。便乗参加はよく聞く話だが、便乗してさらに例会も行ってしまおうというのは前代未聞ではないか。いきなり参加なので、事前アポがあつたの合同例会というようなキチンとしたものでもない。かなりいい加減。ほんと、温かく迎えて下さった夢中会のみなさまには、心からお詫びと感謝の意を表したい。

ナリーズは競技会ではないとは言った。しかし、例会はやっぱり楽しい。例会中の駆け引きも面白いし、終了後の悲喜こももも見ていて笑える。久しぶりに味わった気分だった。ナリーズももう少し人数いた方がいいかな…。以下、広報里ちゃんにバトンタッチ。里ちゃんヨロシク。そして皆様、次号にてお会いしましょう！

ナリーズ第二回例会優勝者は、平山奥様！ペレチョーチンで大型バクバク。ちなみにエナリ会長はヒリ。浮き沈みの激しい会長である…。(例会の様子は写真で！) by 里ちゃん



△心の広い夢中会のみなさまと。ありがとうございました！

△ア二キの要望で、結果はやっぱりネオヘラ風に…。平山奥様、マジでウマ過ぎ！ 会長、コケすぎ！ …ところで、総合成績ってどういう期間で区切るの？ それに、やっぱり里もナリーズ会員なわけ…？ (保科さん、断るなら今です！)

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに！

取扱店：柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに
転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店：

柴舟(東京都江戸川区)
03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)
044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)
03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)
044-711-8266

鮎仙人(神奈川県川崎市)
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとリエぐり

http://www.office27.com
E-mail:info@office27.com

第二戦 へら竿の森 泉園 2008.9.10 Result

順位	選手名	枚数	重量kg
1	平山奥様	37	25.7
2	保科健二	30	21.0
3	里ちゃん	26	20.8
4	平山幹事長	30	19.8
5	須崎副会長	28	18.1
ヒリ	江成会長	26	17.1

総合成績

順位	選手名	例会参加	重量kg
1	平山奥様	2	44.1
2	江成会長	2	41.5
3	平山幹事長	2	40.8
4	須崎副会長	2	40.7
5	里ちゃん	2	37.6
6	保科健二	1	21.0

へら鮒

Monthly fishing magazine herabuna

11



やっぱり、
湖が好きだ。



特集

三名湖、浅ダナ&チョーテンイレバク劇場！
問答無用のへら鮒界ビッグ2が、
秋の湖水釣りを分かりやすく解説！

秋の湖水攻略 石井旭舟 早川浩雄

昭和41年5月4日第3種郵便物認可
平成18年11月1日発行
第41巻第11号(毎月1回1日発行)

2006
11

秋の湖水攻略
石井旭舟&早川浩雄

定価 一〇〇〇円
本体九五二円

(株)へら鮒社

本格派

くわせエサの役割、これすなわち、
食い渋る平鮎にも、口を使わせること也。
グルテンエサの優れたところ、
抜けるマッシュが平鮎を誘い、
グルテン繊維がしっかりと残りて、食いを促すところにあり。
マルキュー謹製「本グル」は、
待ってよし、誘ってよし、吸い込みよし。
くわせタイプの本格派にして、今シーズンの大本命。
嗚呼、グルテンエサの王道、ここに極まる也。

くわせタイプの本格グルテン。
マッシュを抱えて、
グルテン繊維がしっかり残る。

10月
発売予定

グルテン繊維がマッシュを抱え込み、深いタナまでしっかり持って、明確なアタリをもたらします。待てるうえに誘いが効き、軽いのでへの吸い込みも抜群。宙釣りのセットのくわせ、深ダナ狙い、底釣りなどに効果的。食い渋る厳寒期の待ち釣りにも威力を発揮。バラケ性をアップしたいときは「新べらグルテン」、底釣りなどで重さを付けたいときは「いもグルテン」と、他のグルテンエサをブレンドすることで、様々な釣況に対応できます。

●本グル 300g



エサと水	1:1.2
グルテン量	多(大) 中(中) 小(小)
バラケ性	強(大) 中(中) 弱(小)
重さ	重(大) 中(中) 軽(小)

丸マルキュー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
iモード・ホームページ
<http://www.maruky.j.com/i>

釣れるヒント満載!!
へら鮒天国

マルキューホームページ内の「へら鮒天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮒メールマガジンも、お申込はこちらから。

雑誌 07907-11



4910079071169
00952